

東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

看護部長就任のご挨拶

看護部長 加藤 千佳子



宮城の萩大通りの緑が爽やかな季節となり、院内で咲き始めた萩の花も風にたなびいています。

このたび、前任の若生さんと看護部長よりバトンを引き継ぎ、看護部長を拝命いたしました。皆様方には日頃より格別のご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

私は山形県の出羽三山と日本海に囲まれた、長閑な庄内平野で生まれ育ちました。学生時代を仙台で過ごし、東北厚生年金病院、東北医科薬科大学病院、そして東北医科薬科大学若林病院と約30年間、仙台で看護の道を歩んでまいりました。

東日本大震災やCOVID-19パンデミックへの対応など、これまでの様々な経験を経て大切にしていることは「如何なる時も患者さんの立場で考えながら癒やし、その人らしく生きることが支援する」という看護の原点です。4月から当院に異動となり、日々、職員と患者さんの心が通い合う関わりに触れ、当院の理念である「心のこもった温かく良質な医療の提供」が院内に根づいていることを改めて実感しております。

当院は2016年の東北医科薬科大学医学部開設時に附属病院に転身、その後8年の間に福室本院と体制整備を進め、段階的に病床規模や機能などの変化を遂げてきました。現在、入院診療は127床（急性期病棟・回復期リハビリ病棟）、外来診療は23の診療科を備えています。さらに健診センターや透析センターも充実を図り、仙台市若林区唯一の総合病院として地域医療の発展のために尽力しております。また、保健・医療・福祉関連施設との連携にも力を入れており、“在宅ケアカンファレンス”や“地域でつながる健幸づくりフェア”など、地域で暮らす人々の「健康増進」や「生活の質向上」のための活動にも積極的に取り組んでおります。

地域包括ケアシステムの構築が推進されている中で、これまで以上に連携施設の先生方をはじめ職員の皆様と一体となり「患者さんの自分らしい生き方を支えるケア」を実現していきたいと考えております。微力ながら地域医療への貢献のために尽くしてまいりますので、変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 看護部長就任のご挨拶……………P.1
- 「プチ健診」にて「認知機能セルフチェッカー」導入・専門看護師紹介…P.2
- 院内連携リレー 栄養管理部 ……P.3
- TOPICS ……P.4

『プチ健診』にて「認知機能セルフチェッカー」導入



健診センターでは、心のこもった温かく良質な健診を行い、受診される方の健康維持と増進に努めております。

当センターで実施している『プチ健診』では、2024年5月より“視線の動き”から認知機能の状態を把握することができる次世代型認知機能検査サービス「認知機能セルフチェッカー」を導入いたしました。



▶ 検査導入の背景

65歳以上の5人に1人が認知症になる時代と言われ、認知機能を測定する機械のニーズは高まっています。一方で、認知機能を簡単に手頃に確認ができる検査は多くないのが実情です。本検査は非対面でVRヘッドセットを覗きこむセルフ方式で、所要時間は5分程度です。「簡単に、かつ手頃に、そして安心して受けられる検査」であるため、人間ドック・健康診断受検者様や、地域の皆様にとって非常に有益であると考え導入いたしました。現在はプチ健診で実施しておりますが、年内中には人間ドック・健康診断のオプションとしても検査できる予定です。

▶ 検査手順

健診センターへ
来院

受付時間内
にお越しください

プチ健診
券売機で購入

検査費用：3,300円

検査実施

検査結果
郵送

結果はご自宅へ郵送 ㊞

🕒 プチ健診受付時間（土日祝、年末年始除く）

平日 午前 10:00～11:30、午後 13:00～16:00

☎ お問い合わせ ☎

健診センター ☎ 022-236-5881（平日 9:00～17:00）



病院ホームページ
「プチ健診」

専門看護師紹介

専門看護分野 老人看護専門看護師 千葉 隆史

私は2021年度認定の老人看護専門看護師です。

現在私は病棟勤務の中で、高齢者に対する看護実践の支援、看護学生の実習指導、高齢者ケアや認知症ケアに関する相談への対応やスタッフ教育などの活動をしています。老人看護が専門分野として認定された2002年から早20年、高齢者を取り巻く環境は大きく変化しています。

そして現在は専門分野ができた頃より前の時代のように、生涯の最後の時間を病院や施設ではなく、家で過ごすことの支援に重きが置かれるようになってきています。



一方で、認知症や脳機能障害の進行によりうまく意思を伝えることが困難となる前に、高齢者や家族と医療者が意思を共有し、医療・ケアの中で尊重してもらうためのACP（アドバンス・ケア・プランニング）といった取り組みも進められています。今後私はこういった社会変化の中で、院内における高齢者ケアの質向上だけでなく、地域で暮らす高齢者やその御家族の生活についても、地域の皆様と協力しながら支援していきたいと考えています。

★院内連携リレー★ — 栄養管理部 —

本院の部署紹介をリレー形式でご紹介しています！第4回は栄養管理部です！



栄養管理部は病院の管理栄養士と委託業者（富士産業）が給食業務を行い、病院食を提供しています。主に外来・入院患者さんへの栄養指導、各病棟に担当栄養士を配置し、患者さん個々に合わせた食事内容の提案や栄養管理を多職種と連携を図りながら行っています。

適切な栄養管理を行うことで疾病の改善、合併症の予防などの効果が期待できるため、栄養指導では、食生活や嗜好に合わせた食事のプランを実行・継続できるよう患者さんと一緒に考えながら指導しております。

入院中の患者さんには担当栄養士がベッドサイドに伺い、食欲、食形態は適切か、嗜好、食物アレルギーなどの確認、病院食の説明などを行い、必要な栄養をしっかりと摂って頂けるようサポートしています。

また病院給食では味付けや盛り付けも大事なポイントであると考えています。患者さんにより喜んで頂けるお食事が提供できるよう、患者さんや医療スタッフからのご要望やご意見、喫食状況などを委託業者と給食会議を開いて情報共有し、食事内容や食材、調理方法の改善を検討しています。また、長期間の入院や、定期的に入退院を繰り返している患者さんもうらっしゃるため、新メニューも積極的に加えています。

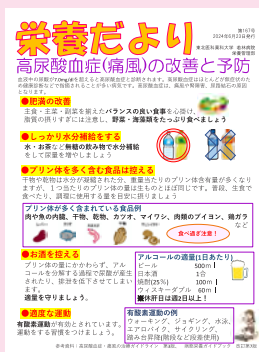
さらに、入院中でも季節を感じて頂くため、毎月季節のイベントや食材を取り入れた行事食を提供しています。

これからも食を通して幅広く患者さんをサポートできるよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



本院管理栄養部では、毎月「栄養だより」を発行し、病院ホームページや東北医科薬科大学 SNS に掲載しております。

皆様も是非ご覧ください！



病院ホームページ



ラジオ×YouTube 番組『教えて！東北医科薬科大学』に赤井病院長、管理栄養士 高山さんが出演！
テーマ「自分に合った果物の摂り方」



大学ホームページ
『教えて！東北医科薬科大学』



宮臨技サーベイで2年連続 100 点を獲得

検査部では1年に2回大きな外部精度管理調査「日本臨床衛生検査技師会サーベイ」、「宮城県臨床検査技師会サーベイ」に参加し、検査データの正確性の維持に努めています。精度管理調査では臨床化学、微生物、血液、一般、生理、輸血と広い部門について検査の正確性が求められます。2つの外部精度管理調査において、当院ではいずれも高得点を維持してまいりましたが、今回宮臨技サーベイにおいて2年連続 100 点を獲得できたことは大きな喜びであり、今後の励みともなります。

写真（左下）の装置は一昨年導入した結合型の生化学・免疫自動分析装置です。1本の採血管で生化学から免疫検査まで一連の検査を自動処理することが可能であり、診察前の検査などを迅速に報告することに寄与しております。他2台は全自動血液分析装置、超音波画像検査装置です。

今後も若林病院検査部は検体検査、生理検査とも正確で迅速な検査データの提供に努めて参ります。



生化学・免疫自動分析装置



全自動血液分析装置



超音波画像検査装置

高校生より花束寄贈 ～マリア祭セレモニー～

5月17日、聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒さんから、当院および当院職員の地域医療への貢献に対する感謝の気持ちを込めて、花束の寄贈を受けました。カトリック教会の伝統で、5月は、4月の復活祭と春の訪れに感謝し、聖母マリアに祈りを捧げる「聖母月」とされています。毎年行われている同校「マリア祭」の一環である“花束のお捧げ”として、1年生代表1名と先生が来院くださいました。多くの職員が参加し、高校生の初々しい姿とあたたかい思いに、心温まる時間をみんなで共有することができました。



地域でつながる健幸づくりフェア in 卸町

6月1日、仙台市が主催する「地域でつながる健幸づくりフェア in 卸町」（於：イオンスタイル仙台卸町）に、当院も協力団体の一つとして参加いたしました。

今回のテーマは「フレイル・認知症予防」であり、住友和弘医師（総合診療科）および千葉隆史老人看護専門看護師の講演や、「認知症セルフチェッカー」（P.2参照）、「森林環境がもたらす認知機能低下予防効果」に関する動画をお客様に視聴いただきました。

中高年にとって関心の高いテーマであり、特に講演は熱心な聴講者で座席が不足する盛況ぶりでした。

同日は、市内で様々なイベントが行われておりましたが、たくさんのお客様に会場いただきました。次回は10月の開催を予定しており、テーマ等内容が決まりましたら、HPなどでご案内いたします。



東北医科薬科大学 若林病院
患者総合支援センター

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920